



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

ウォークラリー

園長 宮竹 恒

11月2日 秋晴れの良き日、ウォークラリーを行いました。ウォークラリーは、若竹学園の行事の中でも、歴史がある行事になります。

第1回ウォークラリーは、平成6年12月25日、午前5時スタートで行われました。

若竹学園をスタートし、ゴールは塩江湯元温泉でした。走行距離は、42.195km、フルマラソンと同じ距離です。当時のことが分かる貴重な資料として、平成18年2月に編集されたウォークラリーの冊子があります。それまでに子ども達が書いた感想文を編集したものです。

冊子を読むと、コースや走行距離、参加者が変わってきた歴史が分かります。

過去の感想文には、当時の子ども達が歩いている時に感じたこと(しんどさや嬉しさ等)、発見したこと、ゴールした時の喜びが書かれています。当時の先生方の感想文も掲載されており、子ども達に寄り添い、子ども達と共に歩かれていたことを強く感じました。

これまで学園で生活し、退園して行った方々にとって、「ウォークラリー」は、特別な一日だったと思います。

そして、子どもから子どもへ、職員から職員へ引き継がれ、若竹学園の大切な行事になっています。今回、参加した子ども達の感想の一部を紹介させていただきます。子ども達の良き思い出となりますように。

—了—

<子ども達の感想>

- ・みんなと歩けたのが楽しかった。
- ・職員の人とか、みんなで写真を撮ったり、マックを食べたりするのがとても楽しかった。
- ・JRに乗れてとてもいい経験になりました。(少し緊張した。)
- ・みんなと楽しく歩けたり、電車に乗ったりとたくさん嬉しい事がありました。夜ご飯も、次の日の昼食もとっても美味しかったです。本当にとっても楽しかったです。毎年、ウォークラリーがしたいです。
- ・足がすごく痛かったけど、完歩できて嬉しかった。
- ・職員の人と一緒に歩けて良かった。
- ・リーダーとして頑張れた。
- ・とても楽しかったし、みんなと協力して、クイズを解いたり、人のペースに合わせて歩けてよかったです。次が楽しみです。
- ・今回は自分達の意見も聞いてもらえてすごく楽しかったしチームも歩ける人などで分けられていて楽しく歩けてよかった。夜ご飯とかバイキングも楽しく最後まで出来た。また、電車に乗りたと思った。初めての体験がたくさん出来て良かった。
- ・社会に出て学べなかった事も学んだし、JRに乗れてよかった。
- ・今回のウォークラリーは、楽しかったです。今まであまり長い距離を歩いた事がなかったので特に良い経験になりました。来年行けないのが残念ですが、来年いる園生も頑張って完歩できるように応援していきます。

青峰・若竹学級だより

校外学習

10月24日に五色台少年自然センターの自然科学展示室まで歩いて出かけ、化石や石器、土器、生



物の標本などを観察しました。館内のクイズラリーにも意欲的に挑戦していました。

学習後は秋空の下、同センター内の広場で体を動かしました。



小中合同授業

学年や個人の習熟度に応じた題材を選び、書写をしました。何回も練習しながら納得のいく一枚を仕上げていました。作品は学校廊下に展示してあります。



全員でNHKの番組「サルも人も愛した写真家」を使った道徳を学習しました。それぞれが自分の意見を持ち、他の人の意見を聞くこともできました。



合同授業 (中学生)

保健体育や技術・家庭科、美術の授業をしました。美術の授業では色による感じ方の違いや、色の組み合わせによる効果などを学習しました。



学習の診断&期末テスト

中学3年生は、11月12日(月)に第4回学習の診断を実施しました。3年生にとっては進路を決めるにあたっての重要な時期となるので、自室での学習時間を有効に使い、意欲的に学習を重ねた上でテストに臨み、持てる力を出し切るべく頑張りました。

11月28日(水)~30日(金)の3日間、2学期の総仕上げとして中学生は9教科のテ



ストを実施しました。わからない問題にも粘り強く最後まで集中して取り組み、日ごろの勉強の成果を発揮できました。

教室入れ替え



年の教室を入れ替えて授業を行っています。

小学生が増えたことに伴い、10月23日から小学生と中学2



お菓子ボックス

遍路小屋でお接待用のお菓子を入れる箱を小学生で協力して作製し設置しました。



ウォークラリー

今年も若竹学園の恒例イベント、ウォークラリーがありました。今年は、参加する子ども達にも意見を聞き、それらを取り入れ、公共交通機関を使ったり、食事を自分達で選んで食べるようにしたりと、例年になかった、新しい形のウォークラリーとなりました。



スタート地点は四国霊場 88 カ所の一つ、白峰寺です。白峰寺から一本松まで歩き、そこから遍路道に入ります。遍路道は凸凹の多い下り坂で大変です。遍路道を下りきると、四国霊場 88 カ所の 80 番札所、国分寺です。そして国分寺を越え、国分駅から JR に乗り、香西駅まで移動しました。香西駅からは高松イオンまで歩き、午前の部は終了です。



お昼ご飯は、うどんとマクドナルドの班に分かれて自分達で注文をして、好きなものを食べました。



午後からの部は、イオン高松から中央公園を經由し、サンポート高松までの道のりを歩きました。

午前中に比べると平坦な道も多く、遍路道で鍛えられた学園生たちには物足りなかったかもしれません。ゴールについた後、まだ元気がある子ども達は、サンポート高松からあかね温泉まで歩きました。あかね温泉でゆっくりとお風呂につかり、疲れを癒した後は、学園

に帰り、みんなで鍋を食べました。

今年のウォークラリーは、みんなで作り上げたとてもいいものになったと思います。企画してくれた先生方や、色々な意見を出してくれて当日頑張って歩き抜いた学園のみなさん、お疲れさまでした！



外食・峯山公園

ウォークラリーが終わったの休みの日に、お昼の時間、外食に出掛けてきました。



前日にしっかり歩いた達成感を感じながら、自分たちの好きな物を選んでお腹いっぱい食事をとって、とても満足そうでした。



また、午後からは峰山公園に遊びに行きました。アスレチックや遊具を使って身体を動かしたり、広場の方では芝生の上でサッカーやバドミントン、バレーボールをしたりして、たくさん遊んで楽しむことが出来ました。



曹洞宗社会福祉連盟研修会

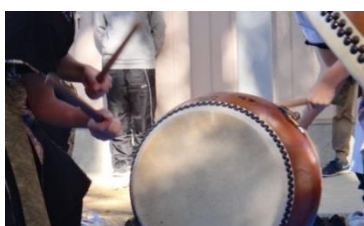
11 月 15 日に、曹洞宗社会福祉連盟の研修会が若竹学園で行われました。新しくなった若竹の建物を見学してもらい、子ども達にも協力してもらっておもてなしを行いました。

まずはみんなで大鼓の演奏を行いました。若竹学園伝統の

若竹太鼓と、三宅島に伝わる伝統太鼓、三宅太鼓を披露しました。



その後は 2 つのグループに分かれ、遍路小屋子どもおもてなし処でのお接待と、ハーブ喫茶ゼルコバでのお接待のお手伝いをしました。どちらもととてもよく頑張っていました。見学者さんからも「太鼓演奏の横でリズムを取りながら、心配そうに見守っていた職員の姿が印象的だ



った。子ども達と職員さんにありがとうございます」とお言葉をいただきました。

新しい遊び道具

寄付で頂いていたイオンカードで、希望が多かった室内で遊べるレゴブロックと、これから寒くなっても外で使って体が温まりそうな縄跳びを買わせていただきました。大切に使いしていきたいと思えます。ありがとうございます。



11 月行事

- 2 日 ウォークラリー
- 10 日 図書館学習
- 13 日 避難訓練
- 15・16 日 曹洞宗社会福祉連盟研修会
- 21 日 買物学習
- 24 日 図書館学習
- 25 日 和太鼓フェスタ夢幻 観賞

在籍人数

平成 30 年 12 月 1 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	5	1	6
	中学生	4	3	7
	その他	0	0	0
	計	9	4	13
女 子	小学生	1	1	2
	中学生	5	2	7
	その他	0	0	0
	計	6	3	9
合計		15	7	22

編集後記

気温も下がり季節もどんどん冬に向かってい
る中、学園では 12 月に運動会が予定されて
います。体調を整えて楽しいものにしたいと
思います。

家庭支援専門相談員 植松圭吾

第 298 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

E メール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒